



瑩山禪師坐像（江戸時代）



釈迦十六善神図（江戸時代）



世尊寺末寺の龍淵寺関係文書（明治6年）



御開山法衣（江戸時代）



〔レプリカ〕杉下の日月旗（原本 室町時代、町指定文化財）



如意と払子（江戸時代）



土田駒造筆 世尊寺巡礼絵馬（明治43年）

山辺町杉下地区は、今から1030年前の長徳元年（995）、多田源氏の祖・源満仲の遊行伝説に起源を発すると伝えられています。

戦国時代には半農半士の「杉下武士団」が土着し、日月旗のもと数多の戦に馳せ参じて最上氏を支えました。また、樹齢千年を超えるとされる杉の大木「蟠龍の大杉」は赤子の成長を願う地域住民の心の拠り所です。

同地区に伽藍を構える両足山世尊寺は延宝元年（1673）に創立され、観音菩薩を本尊に据え、六観音群像や如意、払子、涅槃図などの宗教具や、最上三十三観音巡礼絵馬や山辺蚊帳による戸帳、宝暦7年（1757）建立の雷神宮など数々の文化財を所有しています。

山辺町では同寺所蔵の文化財の全容を把握するべく、様々な分野の専門家とともに、令和6年（2024）より継続的に調査を実施してまいりました。

本展ではその調査結果をもとに、仏像をはじめとする世尊寺の文化財約40点を展示し、同寺の歴史や特徴、地域の信仰の営みをご紹介します。

関連イベント

▶公開講座

記念公演および展示物の解説

10月4日（土）13:30-16:30

①世尊寺の仏像と世尊寺について
講師：渡邊真吾（東北古典彫刻修復研究所・副所長）

②杉下村の歴史について
講師：須崎寛二（南陽市文化財保護審議会・会長、杉下地区出身）
会場：山辺町中央公民館集会所
料金：無料（申込不要）

▶ワークショップ

千年の大杉から仏像をつくろう！

11月1日（土）10:00-16:00

（時間内はいつでも参加可。作業時間：30-50分程度）

講師：東北古典彫刻修復研究所
会場：山辺町ふるさと交流センター「あがらっしゃい」
料金：無料（申込不要、先着50名）
主催：杉下地区景観保全協議会



蟠龍の大杉（令和5年倒壊）

山辺町ふるさと資料館

山辺町ふるさと交流センター「あがらっしゃい」隣接

〒990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺208番地の1
TEL 023-664-5033 FAX 023-664-5377

山辺町ふるさと資料館利用案内

◆開館時間

9:30～16:30

◆休館日

月曜日、国民の祝日
※こどもの日は開館いたします。

◆入館料

大人	200円	
学生	100円	高校生以上
小人	50円	小中児童生徒



羽前山辺駅より徒歩5分
山形中央により車で8分

